

# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 （概要）

## I 調査の概要

### 1 調査目的

孤独・孤立の実態を把握し、効果的な事業を実施するため、山形県における世代毎の孤独・孤立の状況を把握し施策検討の基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査対象・方法

- (1) 調査の対象 : 山形県全域、県内在住の満16歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 : 2,500人（住民基本台帳を母集団とした無作為抽出法により選定）
- (3) 調査基準日 : 令和7年6月1日
- (4) 調査の方法 : オンライン又は郵送により回答

### 3 調査回収結果

- (1) 有効回答数 : 1,271票(回収率50.8%)（オンライン19.7%、郵送80.3%）
- (2) 規正標本数 : 2,361票(各地区の抽出率の差を調整した後の標本数)

※本文、表、グラフなどに使われている（n）は、各質問に対する標本数である。回答不詳等がある場合、全体の数とは一致しない。

# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 （概要）

## Ⅱ 調査の結果（概要）

### 孤独の把握方法、孤独の状況

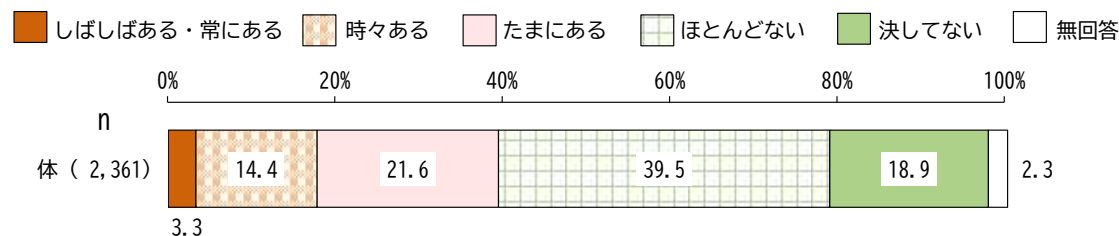
孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、この調査では2種類の設問を採用。

#### ①直接質問：孤独感を直接問うもの

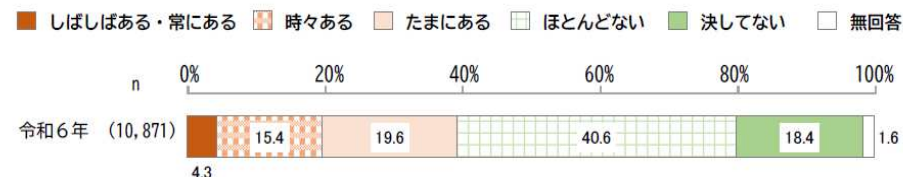
- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は3.3%、「時々ある」が14.4%、「たまにある」が21.6%であった。一方で、孤独感が「ほとんどない」と回答した人は39.5%、「決してない」が18.9%であった。
- ➡ 約4割（39.3%）が孤独感があると回答

問 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

1 決してない      2 ほとんどない      3 たまにある      4 時々ある      5 しばしばある・常にある



（「人々のつながりに関する基礎調査」（令和6年内閣府調査））



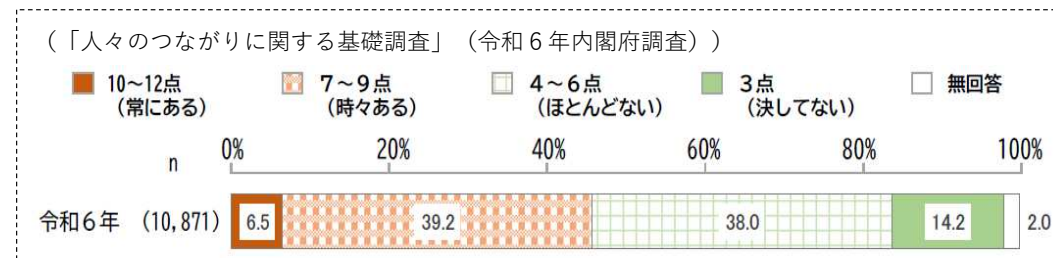
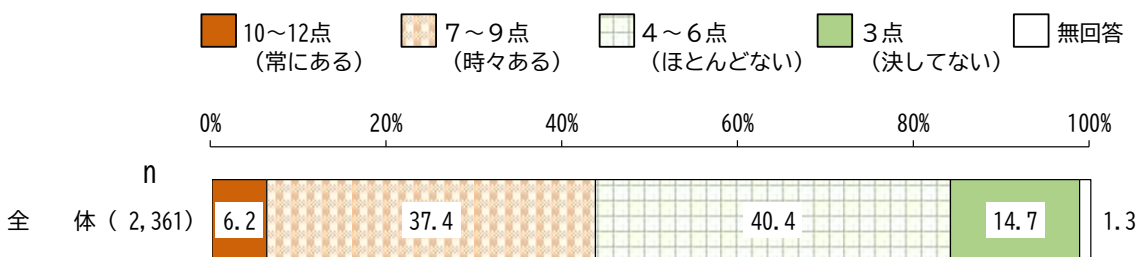
# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 （概要）

②間接質問：カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のラッセルが、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA孤独感尺度」の日本語版の3項目短縮版に基づくもので、以下の3つの設問への回答をスコア化し、その合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価するもの

○ 合計スコアが「10～12点」の人が6.2%、「7～9点」の人が37.4%、「4～6点」の人が40.4%、「3点」の人が14.7%であった。

- 問 ①あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。  
②あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。  
③あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

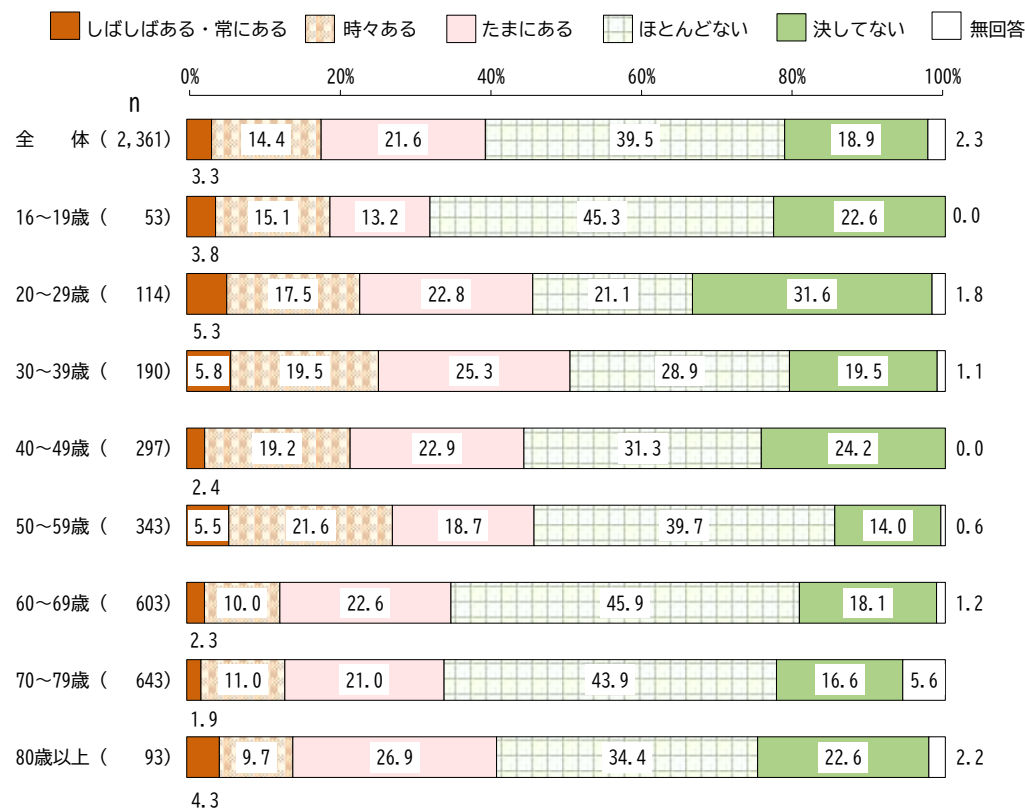
1 決してない    2 ほとんどない    3 時々ある    4 常にある



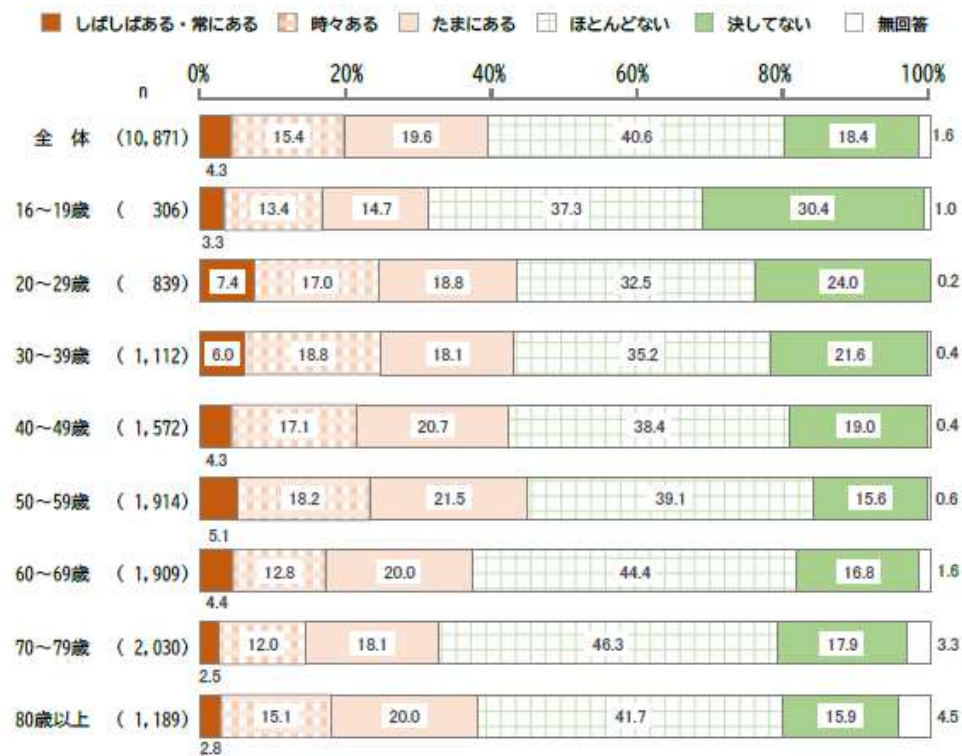
# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 （概要）

## 孤独の状況（年齢階級別、男女別の孤独感）

○ 孤独感を年齢階級別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、30歳代が最も高く5.8%であった。（次いで50歳代、20歳代であった。）



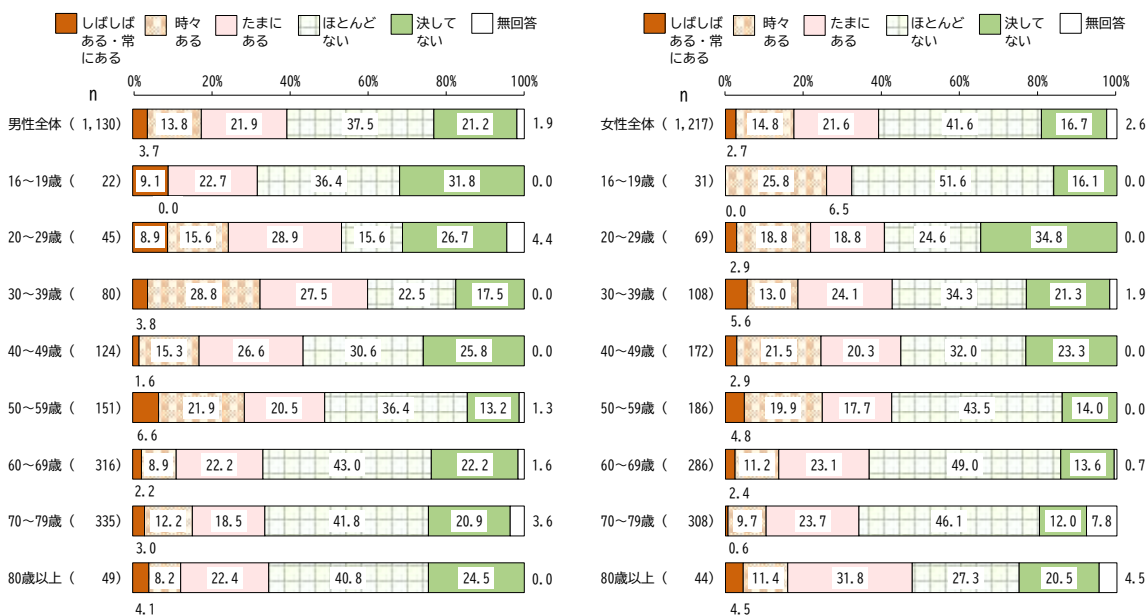
（「人々のつながりに関する基礎調査」（令和6年内閣府調査））



# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 (概要)

## 孤独の状況 (年齢階級別、男女別の孤独感)

- 男女別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性が3.7%、女性が2.7%であった。
- 年齢階級別にみると、男性では10歳代、20歳代及び50歳代、女性では30歳代、50歳代及び80歳以上で高い。



(「人々のつながりに関する基礎調査」 (令和6年内閣府調査))





# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」(概要)

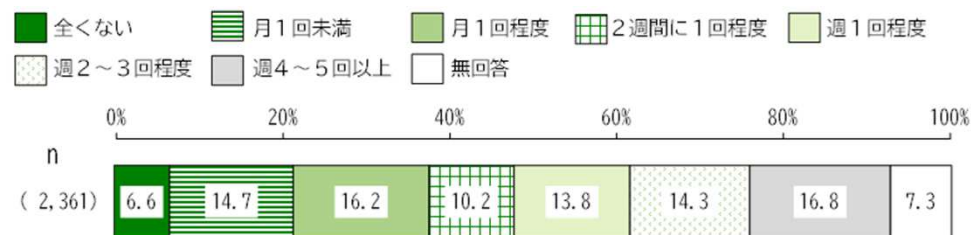
## 孤立の把握方法、孤立の状況

孤立については、国内の先行研究などを参考に①家族・友人等とのコミュニケーション頻度（社会的交流）、②社会活動への参加状況（社会参加）、③行政機関・NPO等からの支援の状況（社会的サポート（他者からの支援））、④他者へのサポート意識（社会的サポート（他者への手助け））の状況から把握。

### ①家族・友人等とのコミュニケーション頻度

○同居していない家族や友人たちと直接会って話すことが「全くない」と答えた人の割合は6.6%であった。

<同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度>



(「人々のつながりに関する基礎調査」(令和6年内閣府調査))



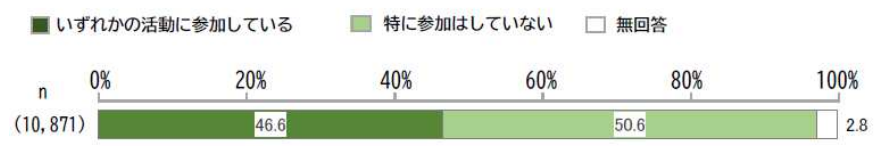
### ②社会活動への参加状況

○「特に参加はしていない」と答えた人の割合は42.5%で、いずれかの活動に参加している人の割合は55.7%であった。

<社会活動への参加状況>



(「人々のつながりに関する基礎調査」(令和6年内閣府調査))

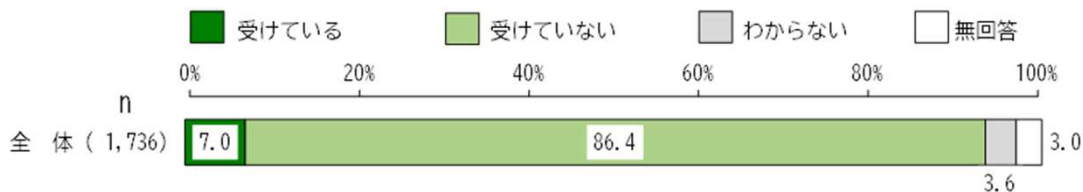


# 山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 (概要)

## ③行政機関・NPO等からの支援の状況

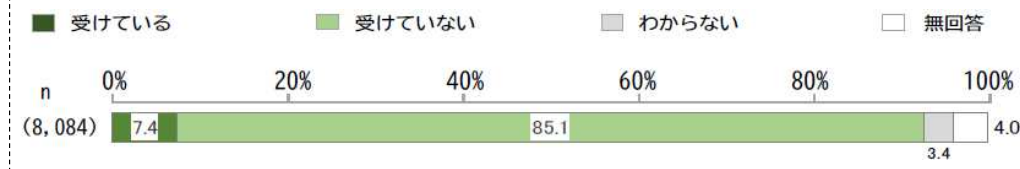
- 支援を「受けていない」と答えた人の割合が86.4%であった。
- 支援を受けていない理由としては、「支援が必要ではないため」が62.0%と最も高い。

<不安や悩みに対する行政機関・NPO等からの支援の状況>



※日常生活に不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したものを対象

(「人々のつながりに関する調査」 (令和6年内閣府基礎調査))



## ④他者へのサポート意識

- まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思うと答えた人の割合が47.2%であった。

<他者へのサポート意識>



(「人々のつながりに関する基礎調査」 (令和6年内閣府調査))

